

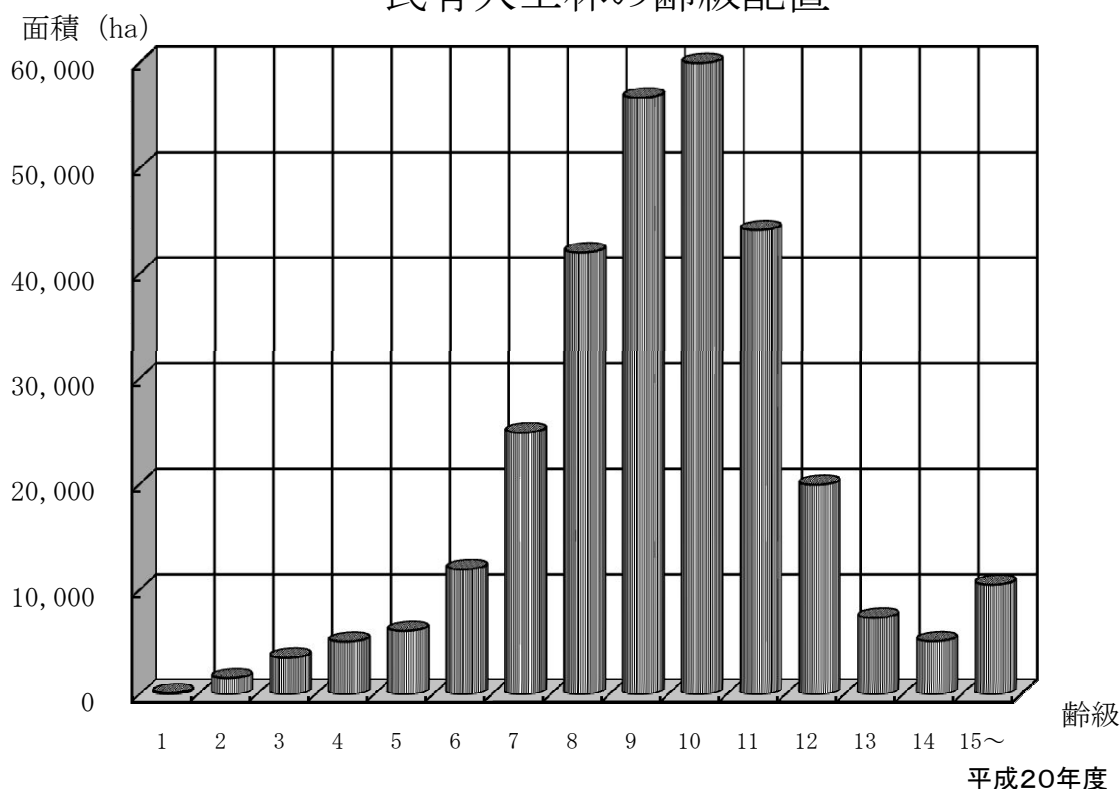
(1) 森林資源

本県は、県土の84%を林野が占める全国屈指の森林県である。

森林の蓄積量をみると国有林、民有林合計で1億6915万m<sup>3</sup>で、うち民有林が86%を占めている。民有林の人工林1haあたりの蓄積量は414m<sup>3</sup>となり、森林資源は増加し、充実してきており、これまで育ててきた資源の活用が課題となっている。

また、民有林の人工林のうち、間伐等の手入れが必要な45年生以下の森林は51%と割合が高く、水資源のかん養などの多面的な機能を持続的に発揮させるため、今後も適切な森林整備を継続していく必要がある。

民有人工林の齢級配置



森林資源現況 (平成20年度)

区分	総数	民有林			国有林		
		計	人工林	天然林等	計	人工林	天然林等
面積 (ha)	597,949	471,690	299,480	172,209	126,260	91,219	35,041
	100%	79%	(63)	(37)	21%	(72)	(28)
蓄積 (千m <sup>3</sup> )	169,153	144,873	124,054	20,819	24,279	19,904	4,375
	100%	86%	(86)	(14)	14%	(82)	(18)

[資料] 民有林：高知県森づくり推進課資料

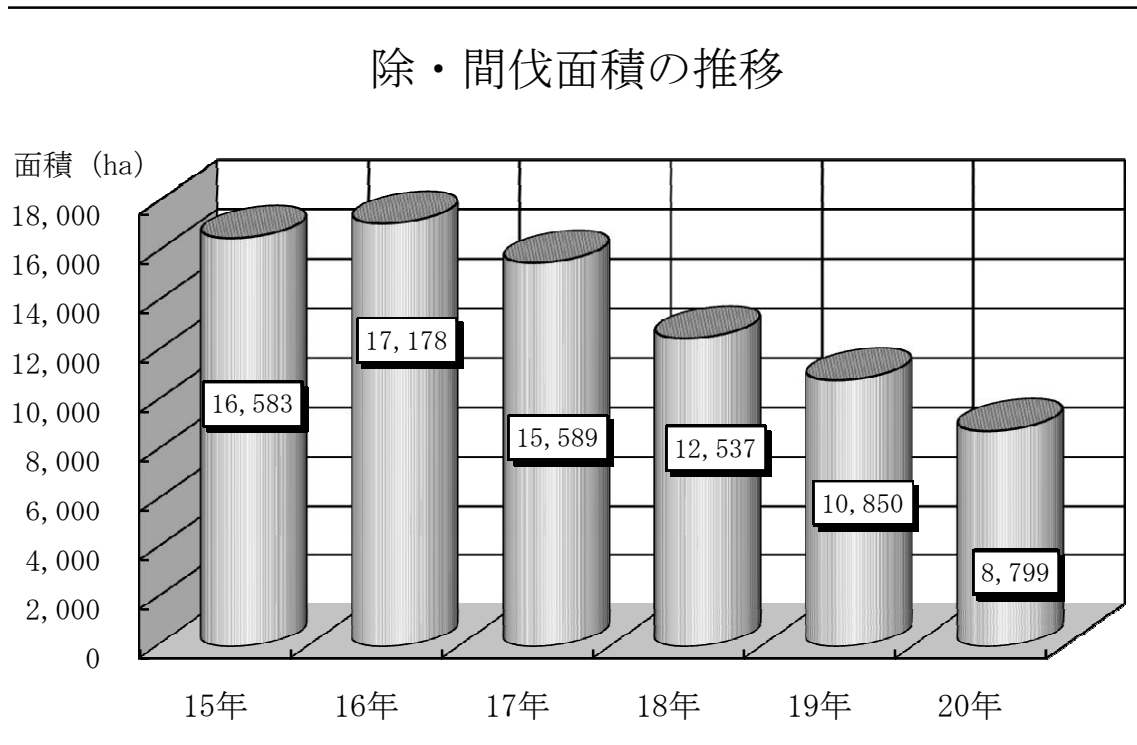
国有林：四国森林管理局資料

注) 内訳と計は端数処理のため、不整合の場合がある。

(2) 森林施業

植栽から保育までの森林施業が実施され、健全な森林の造成が行われるとともに、強度間伐による針広混交林への誘導や長伐期林の造成など、多様な森林の整備が行われている。

森林の持つ様々な機能を発揮するために重要な除間伐の平成20年度の実行量は、8,799haとなっている。



森林施業の実施状況

(単位：h a)

区 分		15年	16年	17年	18年	19年	20年
単層林	再造林	185	239	140	198	214	204
	拡大造林	183	165	142	137	145	150
	小 計	368	404	282	335	359	354
	下刈り	3,402	2,847	2,335	1,914	1,878	1,919
	除間伐	16,583	17,178	15,589	12,537	10,850	8,799
複層林		27	14	17	19	28	21
育成天然林		0	0	0	21	13	37

[資料] 高知県林業改革課

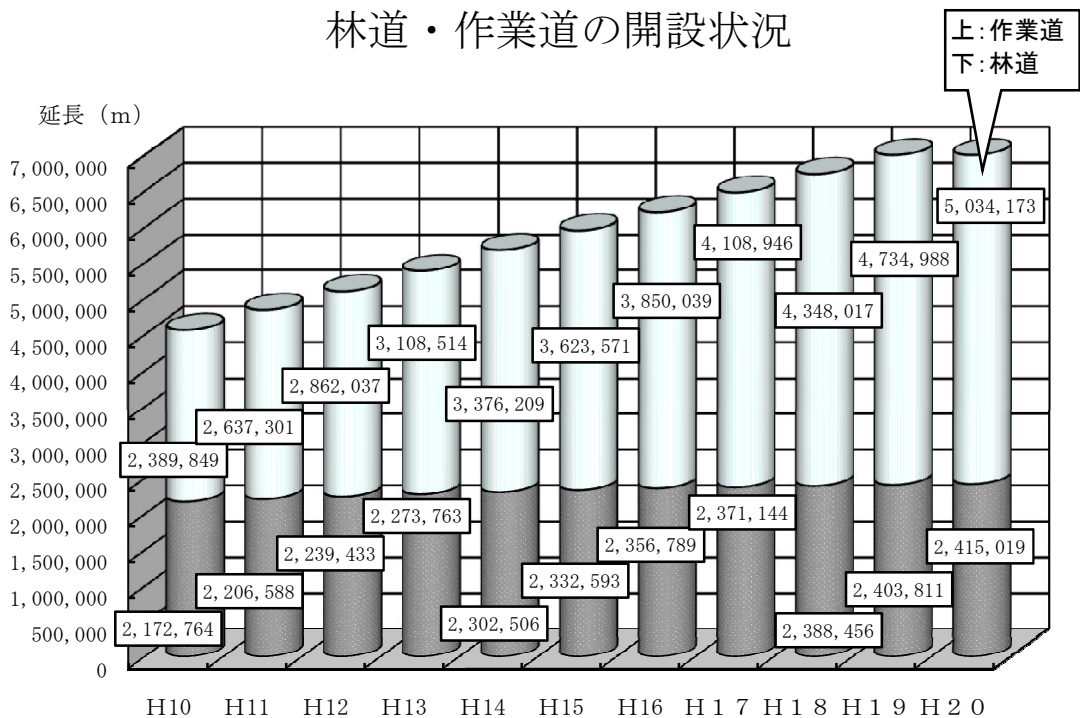
### (3) 林業生産基盤

民有林林道の開設延長は2千kmを超え、この中から市町村道や県道、あるいは国道へと転用されたものも多く、県全体の道路整備に大きく貢献している。

林道の年間開設量は、ピーク時の昭和46年、47年度には100kmを超えていたが、近年は財政状況などの影響により18km程度にとどまっている。

一方林業生産の現場では、合理的な作業システムの導入が進むなど、路網整備の必要性がますます高まっていることから、林道を補完する作業道の開設にも積極的な取り組みを進めている。

作業道の開設累計は、平成20年度末には5,034kmとなっている。



### 路網状況の推移

年度	累計延長 (km)				密度 (m/h a)		
	公道	林道	作業道	合計	林道密度	林内道路密度	林内路網密度
10	4,637	2,173	2,390	9,200	4.6	14.5	19.6
11	4,637	2,207	2,637	9,481	4.7	14.6	20.2
12	4,637	2,239	2,862	9,738	4.8	14.7	20.8
13	4,637	2,274	3,109	10,020	4.9	14.8	21.4
14	4,637	2,303	3,376	10,316	4.9	14.8	22.0
15	4,637	2,333	3,624	10,594	5.0	14.9	22.6
16	4,637	2,357	3,850	10,844	5.0	14.9	23.2
17	4,637	2,371	4,109	11,117	5.1	15.0	23.7
18	4,637	2,388	4,348	11,373	5.1	15.0	24.3
19	4,637	2,404	4,735	11,776	5.1	15.0	25.1
20	4,637	2,415	5,034	12,086	5.2	15.1	25.8

[資料] 高知県治山林道課

注) 端数処理のため、延長の合計は不整合。

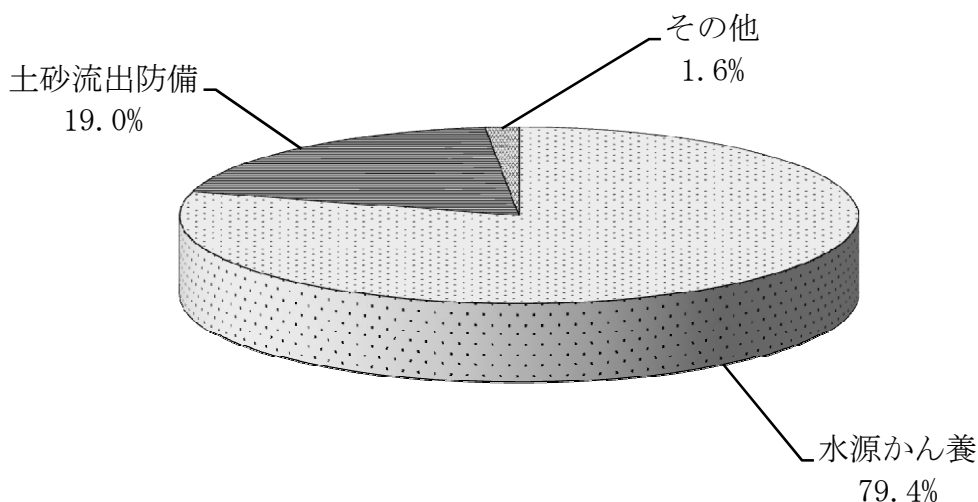
公道延長は、昭和62年度末の数値に固定とする。

#### (4) 保安林

県下の保安林面積は、平成19年度末現在で国有林、民有林合わせて226,636haとなっている。

全森林に対する割合は、約37.9%となっており、保安林種別にみると水源かん養保安林、土砂流出防備保安林の2種類で全体の約98%を占めている。

### 保安林面積



保安林面積の現況

(平成21年3月31日現在) 単位：ha、%

保安林種	国有林	民有林	計	比率	備考
水源かん養保安林	109,081	70,919	180,000	79.42	
土砂流出防備	5,784	37,229	43,013	18.98	
土砂崩壊防備	247	38	285	0.13	
飛砂防備		6	6	0.00	
防風	34	57	91	0.04	
水害防備		1	1	0.00	
潮害防備	97	118	215	0.10	
干害防備	741	308	1,049	0.46	
魚つき	369	560	929	0.41	
航行目標		16	16	0.01	
保健	466	398	864	0.38	
風致		167	167	0.07	
計	116,819	109,817	226,636	100.00	

[資料] 高知県治山林道課

(5) 森林組合

県下には、平成20年度末現在、27の森林組合があり、森林の整備や林産物の生産に取り組んでいる。

各組合とも出資金額の増額に取り組み、組合経営の健全化に努めているが、組合員の加入率の伸び悩みや作業班員の減少、高齢化等から厳しい状況にある。今後は広域合併等により、事業量を拡大するとともに、多角化し、経営基盤を強化する必要がある。

高知県森林組合連合会は、高知市に本部を置くとともに、県下に7つの木材共販所を開設して木材流通の円滑化に務める一方、広域合併に向けた指導等を通じて、単位組合の活動を支援している。

高知県森林組合連合会の概要

(単位：千円、m3)

区 分	15年	16年	17年	18年	19年	20年	
会 員 数	33	31	28	27	27	27	
払込済出資金額	649,428	663,426	666,460	673,458	687,219	690,058	
取扱共販所別	奈半利	35,370	36,077	31,688	21,561	26,980	27,017
	物 部 (H16開設)	—	15,492	27,060	21,187	27,247	25,251
	嶺 北	53,183	54,498	49,026	57,818	41,928	52,156
	高 知	31,990	25,641	20,755	13,903	6,999	6,015
素材取扱量	高 幡	41,394	49,292	37,802	37,313	35,959	41,030
	大 正 (H17開設)	—	—	5,883	5,978	7,538	7,997
	幡 多	26,036	28,693	38,032	39,836	36,849	45,493
	計	187,973	209,693	210,246	197,596	183,500	204,959

森林組合の概要

(単位：千円、人)

区 分	15年	16年	17年	18年	19年	20年
組 合 数	32	30	28	27	27	27
払込済出資金額	1,856,005	1,879,508	1,832,046	1,907,858	1,900,900	1,898,176
組 合 員 数	39,293	39,074	38,880	39,086	38,726	38,262
作 業 班 員 数	1,149	954	889	1,276	1,158	1,087

[資料] 高知県森林組合一斉調査とりまとめ

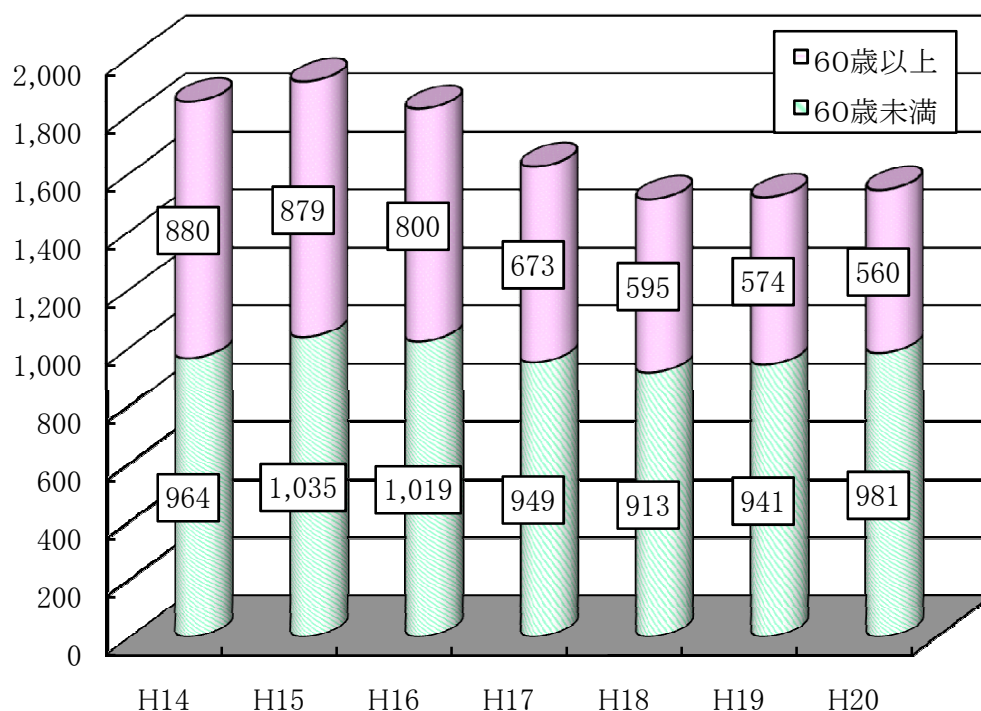
## (6) 林業労働力

林業就業者の調査を昭和50年度に開始して以来、連続して就業者は減少し、平成20年度には、昭和50年度当時（7,463人）の約5分の1の1,541人となっている。

こうした状況の中、平成20年度の新規就業者は207人で、平均年齢は、平成15年度から年々若返り傾向にあり、ここ6年間で5.3歳若返り、51.8歳となっている。

また、林業就業者に占める20歳代以下の構成比が、調査開始以来最高となった前年度を上回り11.8%となり、30歳代以下の構成比も平成3年度の6.9%を底に増加傾向にあり、平成20年度は24.8%となっている。

### 林業就業者数の推移



林業就業者数の推移

単位：人

区 分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
10歳代	5	13	12	6	6	11	8
20歳代	81	115	138	134	127	145	174
30歳代	132	152	161	153	165	181	200
40歳代	237	251	246	233	211	217	219
50歳代	509	504	462	423	404	387	380
60歳代以上	880	879	800	673	595	574	560
合 計	1,844	1,914	1,819	1,622	1,508	1,515	1,541
平均年齢	57.1	55.8	55.0	54.5	53.7	52.6	51.8

[資料] 林産業等（労働力・機械器具）の実態調査（H15まで）

[資料] 林業労働力及び林業機械器具の実態調査（H16）

[資料] 林業労働力、林業機械器具及び素材生産量調査業務委託（H17, H18）

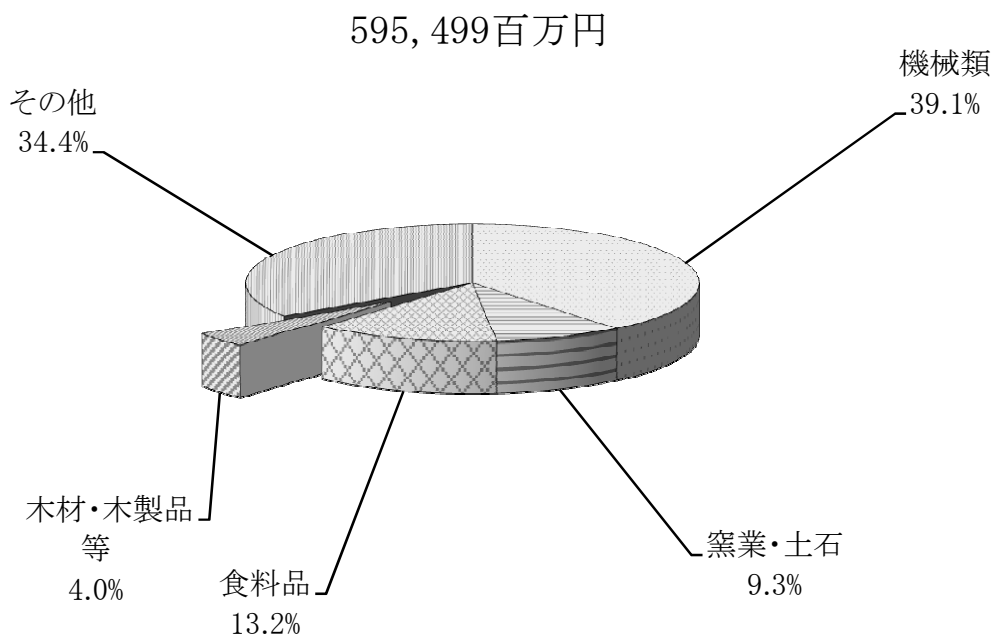
[資料] 林業労働力等調査業務委託（H19から）

(7) 木材産業

本県の木材産業は、県内の優良な森林資源を背景に、製材工場を中心として、木材チップ工場、各種木工品製造工場、木材市場等が存立し、木材の加工・流通に携わっている。

平成19年の工業統計調査によれば、木材、木製品等の製造品出荷額は241億円で県内の製造品出荷額の4%を占める産業となっている。

## 製造品出荷額等



### 木材産業事業所数の推移

区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	備考
製材	187	179	173	164	160	155	147	139	134	
木材チップ	62	61	57	54	54	52	50	48	48	兼業含む
木製品工業	98	90	95	85	86	82	85	79	71	※1
製造品出荷額(億円)	368	336	304	290	261	255	251	240	241	※2
木材市場(原木)	11	9	8	8	8	8	8	8	8	森連共販所を含む
木材市場(製品)	5	5	6	6	6	6	6	5	5	

[資料] 農林水産省 統計情報部「木材需給報告書」、高知県総務部統計課「高知県の工業」

※1：木製品工業＝（木材・木製品（家具・装備品を除く）＋家具・装備品）

－（一般製材＋木材チップ＋金属製家具）

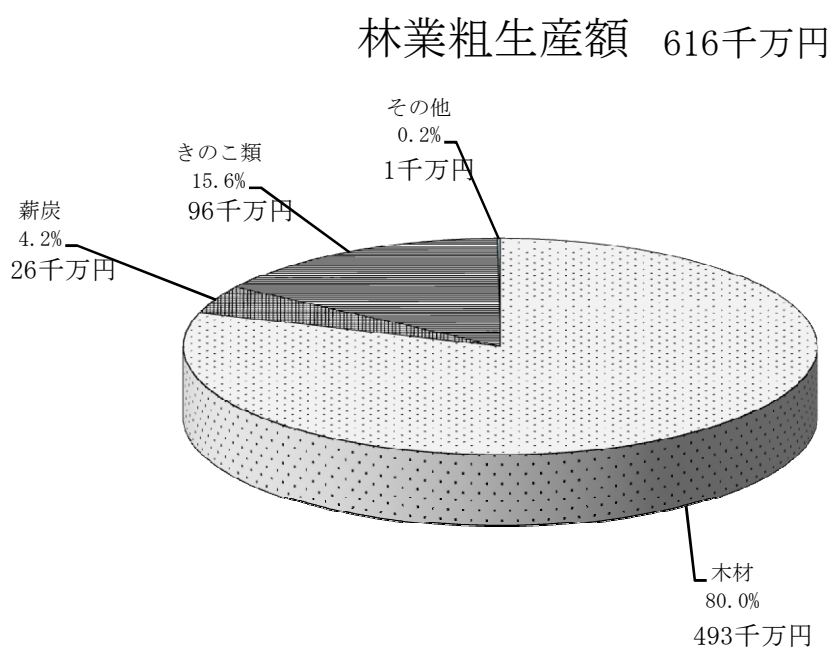
※2：製造品出荷額＝（木材・木製品（家具・装備品を除く）＋家具・装備品）

－金属製家具

(8) 林業粗生産額

平成20年の林業粗生産額は約62億円で、うち約80%が木材生産によるものである。

林業粗生産額は、近年は減少傾向で推移しており、昭和55年(344億円)のピーク時の18%となっている。



林業粗生産額の推移

年次	木材生産		薪炭生産		きのこ類		その他	生産額計 千万円
	数量 千m3	金額 千万円	数量 t	金額 千万円	数量 t	金額 千万円	金額 千万円	
15	405	714	869	26	1,914	107	1	848
16	420	647	882	26	2,073	125	0	798
17	425	591	829	26	2,061	103	0	720
18	446	620	560	15	1,872	95	0	730
19	429	536	659	20	2,024	98	0	655
20	418	493	784	26	1,971	96	1	616

[資料] 農林水産統計「平成20年林業産出額」、高知県木材産業課



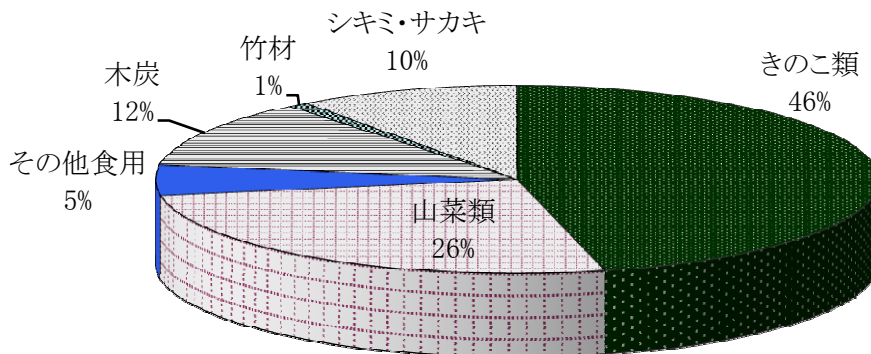
(9) 特用林産

県内では、食用きのこ類（しいたけ、えのきたけ、ぶなしめじ等）、山菜類（たけのこ、いたどり、ふき等）、果樹類（くり等）、木炭、竹材、特用樹（シキミ、サカキ）等の多彩な特用林産物が生産されており、中山間農林家にとって重要な現金収入源となっている。

しかしながら、特用林産物を取り巻く状況は、安価な輸入品の増加による価格の下落により、経営状況は厳しく、担い手不足とも相まって、生産量は減少傾向となっている。

### 特用林産物生産額

2,204百万円



#### 特用林産物生産の推移

作 目		単位	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	平成20年	生産額 (百万円)
食 用	きのこ類	乾しいたけ	t	42	33	25	23	24	81
		生しいたけ	t	565	413	380	409	453	420
		なめこ	t	1.1	2.1	1.2	1.8	2.3	1
		えのきたけ	t	549	553	568	496	442	151
		ひらたけ	t	62	52	46	40	32	13
		ぶなしめじ	t	579	680	663	894	865	280
		まつたけ	t	0.6	0.1	0.03	0.09	0.3	7
		エリンギ	t	247	307	180	143	142	49
	その他	t	27	21	9	17	10	10	
	山菜類	たけのこ	t	731	654	348	369	434	239
		わさび	t	2.3	6.4	4	3	20	35
		わらび	t	22	17	18	18	24	12
		ぜんまい	t	29	28	27	26	26	230
		う り どり	t	15	12	11	11	11	7
た ら け		t	7.0	5.3	4.6	4.7	4.6	15	
いたどり		t	49	42	46	50	45	23	
ふ き		t	173	53	63	64	71	6	
その他							12		
その他	く り	t	128	78	78	73	75	29	
	オウレン	kg	0	0	0	0	0	0	
	キハダ	kg	0	0	0	0	0	0	
	その他							85	
非食用	木炭	t	882	829	560	659	784	260	
	竹材	千束	52	32	23	22	19	20	
	シキミ	t	277	261	262	246	237	154	
	サカキ	t	18	35	37	61	60	65	
2,204									

高知県木材産業課資料

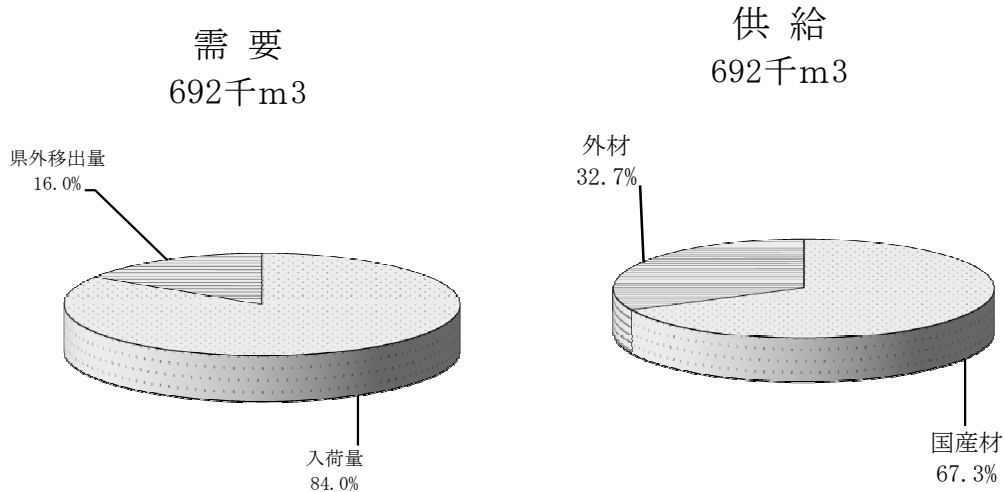
(10) 木材需給

本県の木材需要量は、平成20年次において692千m<sup>3</sup>となっており、製材用が全体の約68%を占め、県外移出用は16%となっている。

供給面では、国産材で67%に相当する466千m<sup>3</sup>を賄っている。供給の33%を占める外材の97%は、ニュージーランド材となっており、他県にみられない特色となっている。

また、平成20年の高知県内の新設住宅着工数は4,284戸で、対前年481戸の増加となった。

その木造率は49.8%で、全国平均の47.3%とほぼ同じである。



木材需給実績 単位：千m<sup>3</sup>

年次	需 要						供 給			国産材率 (%)
	総 数	消 費 (入 荷)				移 出	総 数	国産材	外 材	
		計	製 材	木材チップ	合板・パルプ					
10	878	745	644	100	1	133	878	559	319	63.7
11	796	675	590	82	3	121	796	508	288	63.8
12	773	666	593	72	1	107	773	486	287	62.9
13	722	596	520	75※	1	126	722	478	244	66.2
14	704	584	500	X	X	120	704	470	234	66.8
15	681	578	494	X	X	103	681	450	231	66.1
16	704	596	507	X	X	108	704	466	238	66.2
17	697	586	494	X	X	111	697	466	231	66.9
18	709	598	495	X	X	111	709	483	226	68.1
19	697	600	497	X	X	97	697	477	220	68.4
20	692	581	469	X	X	111	692	466	226	67.3

[資料] 農林水産省 統計情報部「木材需給報告書」、「木材統計」

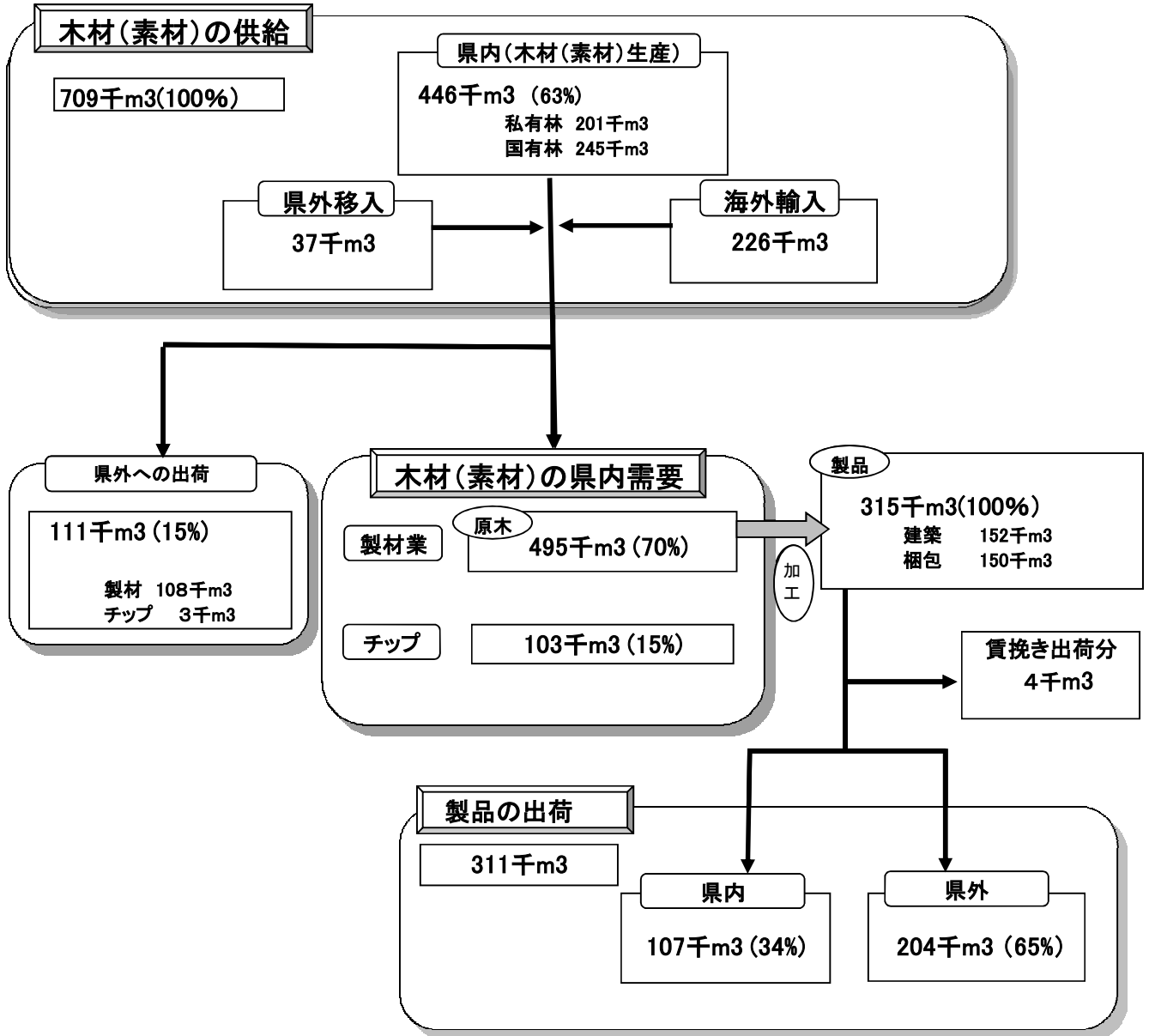
※ 13年より、合板のみ Xは未公表のもの

(11) 高知県における木材流通の現況 (平成18年)

県内への木材(素材)供給量は709千m<sup>3</sup>となっており、内訳は県内の木材(素材)生産による出荷が63%を占め、県外からの入荷が5%、海外からの輸入が32%となっている。

一方、木材(素材)の需要量は709千m<sup>3</sup>となっており、内訳は県内製材業の製品生産が70%を占め、県内のチップ等の生産が15%、県外への出荷が15%となっている。

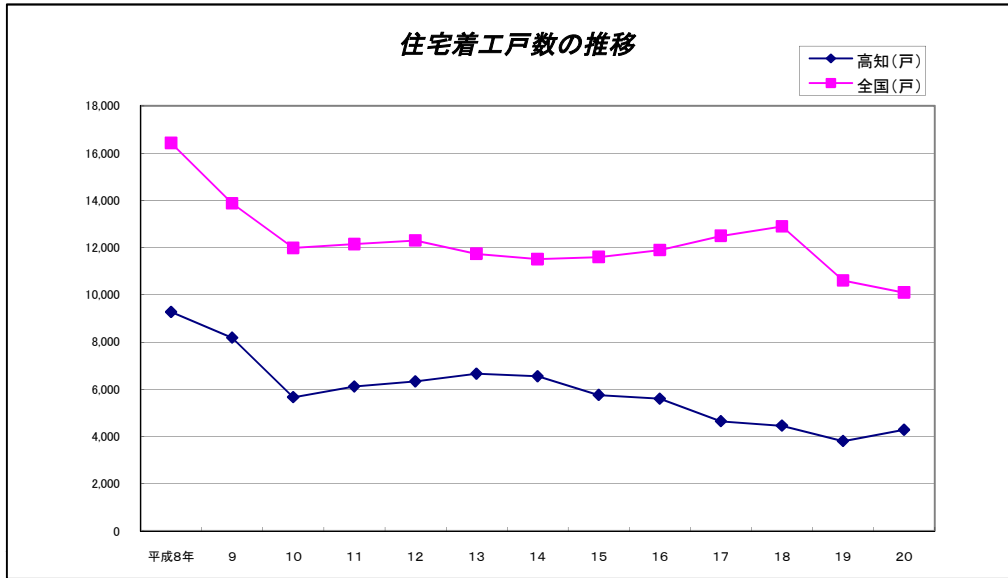
県内で生産された製品の315,000m<sup>3</sup>については、34%が県内の製品市場等に出荷され、65%が県外へと出荷されている。



資料: 農林水産省統計部「平成18年木材需給報告書」から

(12) 新設住宅着工数の推移

本県の平成20年の住宅着工戸数は4,284戸で平成9年(8,180戸)に比べて52%の着工数に減少している。また、一戸建住宅の着工戸数は1,884戸で平成9年(3,691戸)に比べて51%の着工数に減少している。一戸建住宅の木造率については83%と、全国の86%に比べて3%下回っている状況である。



区分 年		高知県				全 国			
		木造計	非木造	計	木造率	木造計	非木造	計	木造率
		(戸)	(戸)	(戸)	(%)	(戸)	(戸)	(戸)	(%)
14年	全体	2,259	4,291	6,550	34	503,761	647,255	1,151,016	44
	一戸建	2,045	484	2,529	81	405,228	83,068	488,296	83
15年	全体	2,082	3,671	5,753	36	523,192	636,891	1,160,083	45
	一戸建	1,967	535	2,502	79	420,382	82,169	502,551	84
16年	全体	2,255	3,343	5,598	40	540,756	648,293	1,189,049	45
	一戸建	2,008	555	2,563	78	432,614	82,096	514,710	84
17年	全体	2,035	2,607	4,642	44	545,370	648,293	1,249,366	44
	一戸建	1,811	546	2,357	77	419,519	76,523	496,042	85
18年	全体	2,024	2,435	4,459	45	559,008	730,824	1,289,832	43
	一戸建	1,878	549	2,427	77	426,605	76,120	502,725	85
19年	全体	1,922	1,881	3,803	51	504,546	556,195	1,060,741	48
	一戸建	1,599	404	2,003	80	379,895	65,736	445,631	85
20年	全体	2,133	2,151	4,284	50	516,868	576,617	1,093,485	47
	一戸建	1,560	324	1,884	83	377,849	63,678	441,527	86

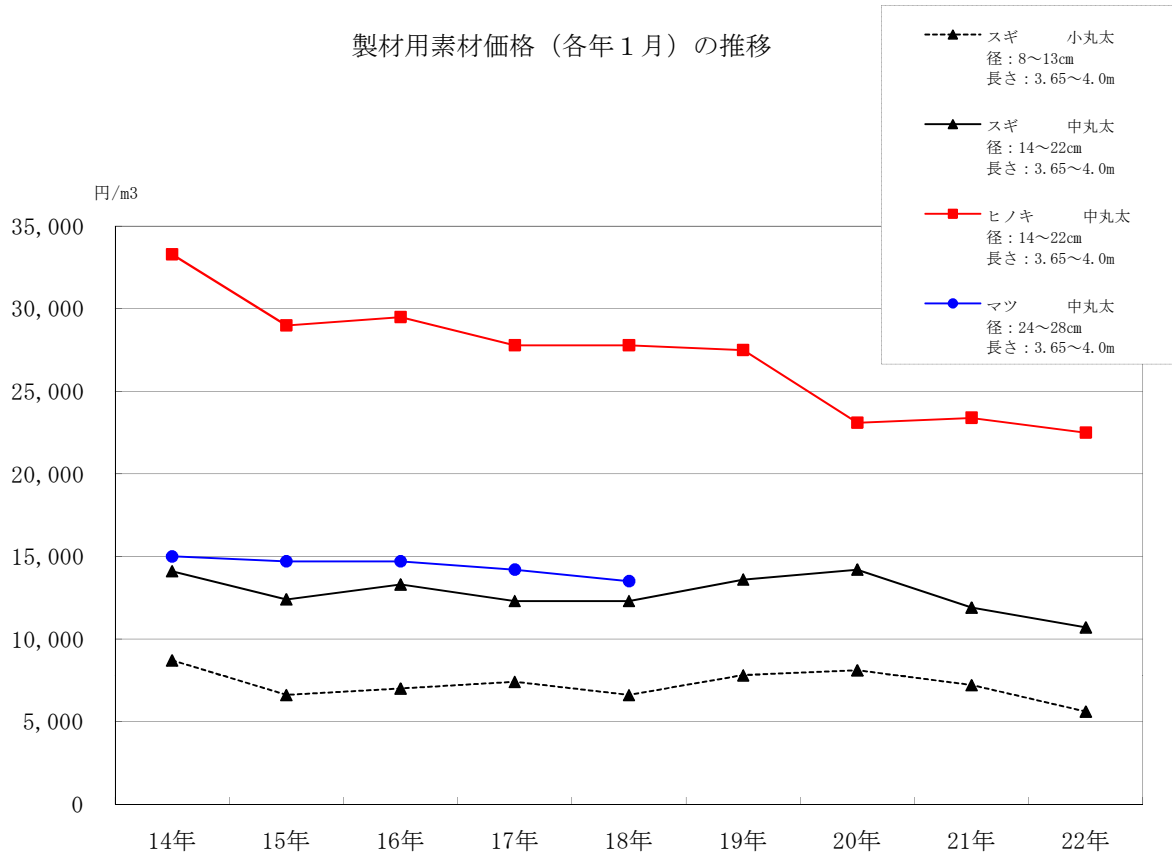
資料； 住宅着工統計(国土交通省)

※「全体」・・・アパート、マンション等の共同住宅、戸建ての住宅の総数

※「一戸建」・・・一つの建物が1住宅であるもの

(13) 木材価格

原木価格は下落傾向に歯止めがかかりつつあるものの昭和55年頃をピークに下落傾向が続いておりピーク時のスギ45,200円、ヒノキ83,900円と比べると約4分の1の価格にまで落ち込んでいる。



製材用素材価格（各年1月）の推移

単位：円/m³

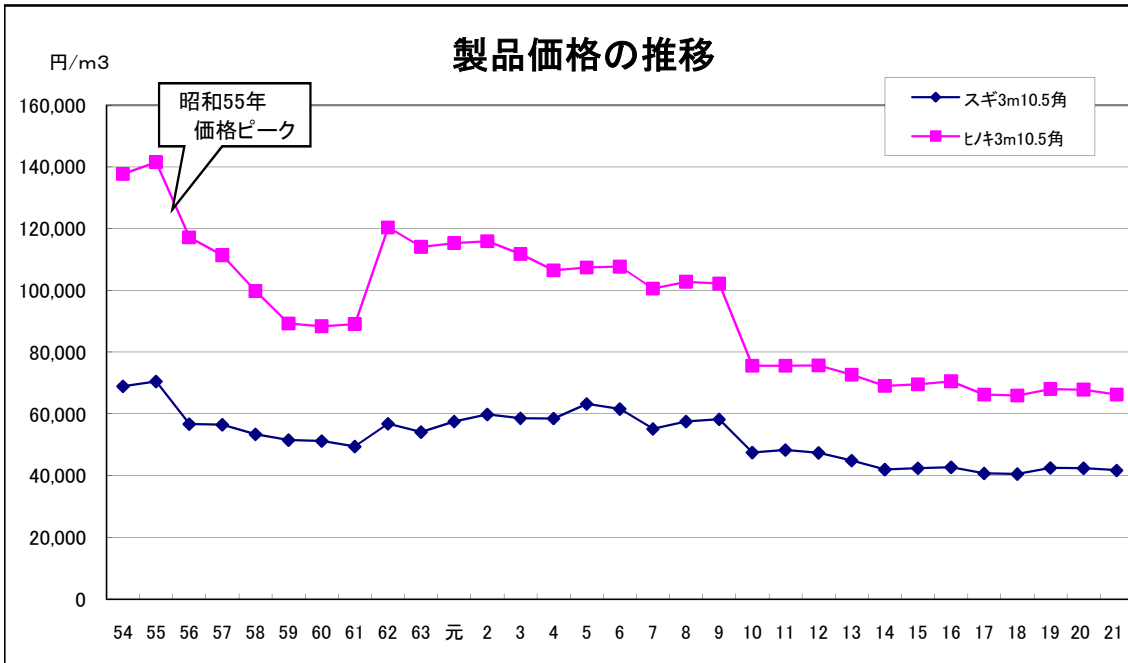
区 分		14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
スギ	小丸太 径：8～13cm 長さ：3.65～4.0m	8,700	6,600	7,000	7,400	6,600	7,800	8,100	7,200	5,600
	中丸太 径：14～22cm 長さ：3.65～4.0m	14,100	12,400	13,300	12,300	12,300	13,600	14,200	11,900	10,700
ヒノキ	中丸太 径：14～22cm 長さ：3.65～4.0m	33,300	29,000	29,500	27,800	27,800	27,500	23,100	23,400	22,500
マツ	中丸太 径：24～28cm 長さ：3.65～4.0m	15,000	14,700	14,700	14,200	13,500				

[資料] 農林水産省 大臣官房 統計部 「農林水産統計—木材価格」

「農林水産統計—木材価格」が修正されたため20年、21年データを修正した。

(14) 製品価格の推移 (全国)

全国の製品価格は昭和55年をピークとして、下落が続いている。スギについてはピーク時の価格(70,500円)に比べて59%の価格(41,700円)、ヒノキについてはピーク時の価格(141,500円)に比べて47%の価格(66,300円)にまで落ち込んでいる状況である。



年次	製品価格	
	すぎ正角	ひのき正角
	厚:10.5cm、 幅:10.5cm、 長:3.0m	厚:10.5cm、 幅:10.5cm、 長:3.0m
12年	47,400	75,700
13年	44,900	72,700
14年	42,000	69,100
15年	42,400	69,600
16年	42,700	70,600
17年	40,700	66,300
18年	40,500	66,000
19年	42,700	69,700
20年	42,400	67,900
21年	41,700	66,300

資料：農林水産省統計部 「農林水産統計—木材価格」

「農林水産統計—木材価格」が修正されたので、20、21年データを修正した。

(15) 全国に占める高知県林業の地位

項目	単位	年	全国	高知県	対全国比% 高知県/全国	全国 順位	上位3位			出典	
							1位	2位	3位		
総土地面積	千ha	H21	37,795	711	1.9	13	北海道	岩手県	福島県	全国都道府県市区町村別面積調	
森林資源	森林面積	千ha	H19	25,097	599	2.4	11	北海道	岩手県	長野県	林野庁計画課調べ
	森林面積率	%	H19	67	84	—	1	高知県	岐阜県	島根県	林野庁計画課調べ
	民有林面積	千ha	H19	17,411	471	2.7	10	北海道	岩手県	岐阜県	林野庁計画課調べ
	国有林面積	千ha	H19	7,686	127	1.7	13	北海道	福島県	秋田県	林野庁計画課調べ
	人工林面積	千ha	H19	10,347	392	3.8	5	北海道	岩手県	長野県	林野庁計画課調べ
	人工林率	%	H19	41	65	—	2	佐賀県	高知県	福岡県	林野庁計画課調べ
	保安林面積	万ha	H19	1,249	23	1.8	13	北海道	長野県	岩手県	林野庁治山課調べ
林家・労働者・事業体	林家数	戸	H17	919,833	24,778	2.7	14	岩手県	広島県	福島県	世界農林業センサス
	森林組合数	組合	H19	736	27	3.7	3	北海道	兵庫県	高知県	森林組合統計
	森林組合雇用労働者数	人	H19	27,245	1,158	4.3	4	和歌山県	長崎県	徳島県	森林組合統計
	林業就業者数	人	H20	—	1,541	—	—	—	—	—	高知県林業就業者調査
	製材工場数	工場	H20	7,378	126	1.7	32	岐阜県	三重県	新潟県	平成20年木材統計
生産額・生産量	生産林業所得	千万円	H20	24,161	440	1.8	22	長野県	北海道	宮崎県	平成20年木材統計
	林業産出額	千万円	H20	44,487	616	1.4	25	長野県	北海道	新潟県	平成20年林業産出額
	素材生産量	千m <sup>3</sup>	H20	17,709	418	2.4	13	北海道	宮崎県	岩手県	平成20年木材統計
	うち民有林生産量	千m <sup>3</sup>	H20	—	262	—	—	—	—	—	木材産業課
	杉 <sup>ノ</sup> 生産量	千m <sup>3</sup>	H20	8,755	240	2.7	12	宮崎県	大分県	秋田県	平成20年木材統計
	ヒノキ生産量	千m <sup>3</sup>	H20	1,886	143	7.6	5	愛媛県	岡山県	熊本県	平成20年木材統計
	広葉樹生産量	千m <sup>3</sup>	H20	2,734	25	0.9	21	北海道	岩手県	広島県	平成20年木材統計
	木炭生産量	t	H20	27,889	784	2.8	9	岩手県	北海道	島根県	特用林産需給動態調査
	生椎茸生産量	t	H20	70,342	453	0.6	36	徳島県	群馬県	北海道	特用林産需給動態調査
	乾椎茸生産量	t	H20	3,867	24	0.6	16	大分県	宮崎県	熊本県	特用林産需給動態調査
製造品出荷額等 (一般製材)	億円	H19	6996.0	149	2.1	19	広島県	北海道	宮崎県	平成19年工業統計	
需要	新設住宅着工戸数	戸	H20	1,093,485	4,284	0.4	44	東京都	神奈川県	愛知県	住宅着工統計
	木造数	戸	H20	516,868	2,133	0.4	45	東京都	神奈川県	埼玉県	住宅着工統計
	木造率	%	H20	47.3	49.8	—	37	岩手県	秋田県	青森県	住宅着工統計
基盤整備	民有林林道(自動車道)現況	km	H20	88,249	2,415	2.7	—	—	—	—	治山林道課
	民有林林道(自動車道)密度	m/ha	H20	5.1	5.2	—	—	—	—	—	治山林道課